

# 「定住支援センター」の整備にかかる

## ■定住支援センターの整備にかかる検討経過（報告）

9月に開催しました「豊富まちづくりシンポジウム」の開催概要、9月から11月に計3回開催しました「住民ワークショップ」により取りまとめた要望意見、作業部会での検討内容および協議会委員による先進地事例調査について、事務局から報告をおこないました。

## ■定住支援センターの機能について

「住民ワークショップ」の意見や作業部会での検討を踏まえて作成した、定住支援センターの機能構成の素案について説明し、各委員から意見を頂きました。

委員からの主な意見は次のとおりです。

### ①温浴・足湯施設について

温浴・足湯施設については、維持管理にも多くのコストがかかることや、豊富温泉との関わりを含めて、整備の目的、必要性を明確にして、定住支援センターに設置すべきかどうか再検討が必要。

### ②他の施設との機能分担について

町民センターの大ホールや調理室、スポーツセンターなど、定住支援センターと機能が重なる施設との役割分担を明確にすること。

### ③管理運営の検討

施設の運営管理は非常に重要である。定住支援センターは複合施設であり、業務の所管課がそれぞれ縦割りで室を管理すると、使い勝手の悪い施設となってしまう。運営の主体となるNPOや指定管理者などを含めて、管理運営方法を検討すべきである。

### ④防災の拠点機能について

大地震などの災害時には耐震性の低い役場庁舎は使用できないことが想定されることから、定住支援センターに防災拠点としての機能を持たせるべきではないか。災害対策本部となる情報管理設備を備えた会議室や毛布、食料品などを保管する備蓄倉庫などが必要。

## ■定住支援センターの建設地について

定住支援センターの建設地について検討をいたしました。建設地の要件としては、

- ①幼児を抱えた母親、高齢者、障がい者なども含め、誰もが利用しやすい場所であること
  - ②町立病院、保育園、役場などに近接し、医療、保健、子育てに関する住民サービス機能と一体的に活動や事業がおこなえること
  - ③中心市街地にあつて、街なかに賑わいをもたらすことができること
  - ④定住支援センターとしての十分な機能を確保できる敷地規模を持っていること
- とされ、以上から定住支援センターの建設地は、**中学校跡地が適地**であるとされました。



# 第2回豊富町まちづくり協議会が開催されました

平成22年12月15日（水）町民センターにおいて、第2回豊富町まちづくり協議会が開催されました。「定住支援センター」（保健、福祉、多世代交流を目的とした複合施設）の整備に向けて、これまでに開催した「豊富まちづくりシンポジウム」や「住民ワークショップ」などの結果報告をおこなうと共に、定住支援センターに求められる機能と建設位置について検討をおこないましたのでお知らせします。

### 施設イメージ

- ◎子どもから高齢者まであらゆる世代が気軽に利用できる
  - ・中高生が学校帰りに
  - ・子育てお母さんお父さんが子どもを連れて
  - ・勤労者が仕事帰りに
  - ・高齢者が一人でぶらりと
- ◎多世代がふれあえる
  - ・高齢者が子どもに読み聞かせ
  - ・中高生がボランティアを
  - ・家族が来てみんなが楽しめる
  - ・定年後専門スタッフに
- ◎市街地に賑わいができる
  - ・街なかに賑わいができる
- ◎“ゆるい”コミュニティ
  - ・目的がなく立ち寄って楽しい
  - ・情報が得られる
  - ・一人でも楽しい
  - ・そこに行けば誰かに会える

